

120616 ササユリ

ついに「ササユリ」に出会うことができました！

まだ標高の高いところではユリの仲間の蕾（つぼみ）をよく見かけるのですが、いずれも開花までは時間がかかりそうでした。

“まだしばらくは花を見るのは無理かな…” と思っていたのですが、大和葛城山系の中腹辺りで偶然、数輪の「ササユリ」が開花していたのです。

この花は、本州中部から九州にかけて分布する多年草で、山地の草原や明るい森林で、6～7月頃に開花します。

あまり数は多くないのか、なかなか見つけることは難しいですね。

花の大きさは10～15cmくらいで、結構遠くからでも淡いピンクの花を見つけることができます。

葉っぱが笹の葉に似ているところからこの名前が付けられた、日本を代表するユリと言えるでしょう。

この花をシンボルマークにしている自治体も多く、泉佐野市や糸魚川市（新潟）、中辺地町（和歌山）、久万町（愛媛）などがあるそうです。













